

米軍オスプレイ 6機参加で過去最大 日米共同実動演習「フォレスト・ライト」中止せよ 12月7日～18日相馬原・関山で自衛隊400人、米海兵隊500人

滋賀県琵琶湖野演習場で昨年2月の日米フォレスト・ライト



ん。すると勤務の無いときはどうしているのか、ホテルでは食事は出ないそうです。防衛事務局長は「米兵は、朝食はとらないそうです」などと言っていました。非番の人は食事を調達に出かけることがあるのです。

11月5日に日米共同訓練「キーンソード」を終えた宮崎県は、宮崎県と周辺自治体が協力して防衛省と交渉し、米兵全員のPCR検査をおこない、陰性の米兵だけを共同訓練に参加させています。なぜ今回は米兵のPCR検査をおこなわないのか、PCR検査の実施を強く求めていくことが必要です。

さらに、宮崎県では自治体と防衛省がそれぞれ職員を配置し、米兵の通過する道路やホテル、近くの商店街などをパトロールし、事件が起こらないようにしていることです。

（略）以上の点から、安保破棄群馬県実行委員会として、再度、防衛省と前橋市、群馬県に申し入れを緊急に行うことにしました。

（略）
安保群馬は、日米共同訓練に対する抗議・監視活動を12月7日、12日、13日に相馬原駐屯地裏門・演習場入口でおこないます。

米軍オスプレイ6機が参加して日米共同実動演習「フォレスト・ライト」が12月7日から18日まで陸自の群馬県相馬原演習場と新潟県関山演習場で、過去最大規模でおこなわれます。

安保破棄群馬県実行委員会ニュース11月28日付は、演習実態を要請行動のなかで徐々に明らかにしてきています（下記）。

『相馬原には自衛隊200人、米海兵隊員300人です。自衛隊員はテント生活、米兵は宿舎、100人は前橋市内4カ所のホテルに宿泊。レンタカーのワゴン車で移動する。食事は昼食と夕食は相馬原で済ませる。という話でしたが、聞きこんでいくと自衛隊も海兵隊も交代制で勤務するのです。朝から11時まで勤務はしませ

那覇地裁不当判決 辺野古埋立て「抗告訴訟」沖縄県の訴え却下

沖縄県名護市辺野古の工事を止めるため県が18年8月に行った埋め立て承認の撤回を、19年4月に取り消した国土交通相の裁決は違法だとして、県が国を相手に裁決の取り消しを求める「抗告訴訟」で11月27日、那覇地裁は、県の主張を却下する「門前払い」の不当判決を出しました。（略）那覇地裁は、審理対象ではないとして県の訴えを却下。県が主張した埋め立て承認の撤回の適法性や国土交通相の裁決理由の誤りなどについての判断は、一切示していません。

12月1日付の「ひんぷん赤旗」は、沖縄や横田、岩国、横須賀などの在日米軍基地のコロナ感染の最新状況を掲載しました。
まず11月30日に沖縄県が在沖米軍基地で新たに72人の感染が確認されたと発表したことを紹介しています。
沖縄県で1日あたり72人は最多です。
また「ひんぷん赤旗」は、11月以降の在日米軍が公表してきた全国の基地別感染者数についても紹介、横田基地での42人、横須賀基地、岩国基地でも感染者が

急増していることに関して、14日に原子力空母母港の横須賀と、艦載機部隊の拠点・岩国での感染拡大につながった可能性もあります」と分析しています。
また、各米軍基地で感染拡大が顕著であるにもかかわらず、在日米軍司令部が11月20日以降、基地別感染情報を更新していない点についても、情報公開が後退しています。」と批判しています。
一方、在韓米軍司令部では感染場所、行動履歴を含む

めて逐一、報道発表し続けていることも明らかにし、同じ同盟国でも情報公開の差が歴然としています。」と述べています。
在日米軍司令部は11月20日を最後に今も感染情報を更新していません。
各米軍基地で感染が急増しているため、意図的に更新を見送った可能性があります。
極めて不当な扱いで、1日も早く更新するともに、在韓米軍司令部のように感染場所、行動履歴なども含めて公開すべきです。

横田・岩国 横須賀でも急増 情報更新されず
在沖繩米軍72人が コロナ感染

阻止連
ニュース
3279号
12月1日付

12月の安保中央常任幹事会

12月9日（水）午後4時からオンラインで開催します。
オンライン会議のため、8日（火）までに安保中央へ参加申し込みをお願いします。